

EP8000 HWMC-CR2 HWMC コード V10

変更内容と来歴

	変更内容
V10R3M1060.3	<ul style="list-style-type: none"> •Power10 サーバ・ファームウェア FW1060 をサポートします。 •NVMe 拡張ドローワのマルチパス機能を使用可能にします。Power10 サーバ・ファームウェアが FW1060.10 の場合、NVMe 拡張ドローワごとに追加の 24 個の冗長パートナー・スロットが使用可能になります。HWMC を使用して、両方のパートナー・スロットを同じ区画に割り当てる必要があります。 •以下の機能/パネルのユーザー操作性を改善します。 <ul style="list-style-type: none"> <コンソール管理> <ul style="list-style-type: none"> - HWMC アップグレード・データの保管/復元に関する新しいビュー。 - HWMC アップグレード機能に関する単純化された操作性: HMC アップグレード・データの保管 -> アップグレード・ファイルのダウンロード -> HMC のアップグレード - 重要なコンソールデータのバックアップと復元の新しいビュー - HWMC 再始動/シャットダウン機能の新しい操作性 <システム管理と CoD 機能> <ul style="list-style-type: none"> - システムアクションの新しい操作性: 電源のオン/オフ, - 接続の追加/削除/リセット、システムの再構築/変更/更新、システムパスワードの更新、別の管理コンソールの切断、サービス プロセッサ ステータス。 - 複数システムの電源オフ機能のサポート。 - CoD 機能の新しいビュー。新しい CoD GUI には Utility CoD は含まれていません。Utility CoD を表示および管理するには、古い GUI ダッシュボードまたはコマンドラインを使用してください。 <ユーザー管理> <ul style="list-style-type: none"> - アクティブユーザーと実行中のタスクの簡易表示。アクティブユーザーのログオフや実行中のタスクを終了するための操作。 - ユーザープロフィール、タスクロール、リソースロールのパネルの変更。 - HWMC ユーザーのユーザーID は変更できなくなりました。 <パーティション管理> <ul style="list-style-type: none"> - システムプロフィールのリスト/作成/管理の簡素化されたビュー - パーティションプロフィールの管理に関する新しい操作性: list/create/copy/manage - 区画プロフィールの活動化の起動ポイント •非 ASCII 文字を含む管理対象システムまたは区画の記述フィールドを空ストリングに更新するように、管理対象システムの rebuild path を変更しました。 •partition migration で、編集されてから検証された仮想 FC および仮想 SCSI マッピングが使用されないという GUI partition migration の問題を修正しました。 •HWMC 再起動後に、physical I/O アダプターの説明およびフィーチャー・コードが正しくないか欠落する原因となる可能性があるタイミングの問題を修正しました。 •モバイルプロセッサとモバイルメモリの両方を搭載したサーバーの電源投入後に、Power enterprise pool のモバイルプロセッサが復元されない断続的な問題を修正しました。この修正では、サーバーが、対応するサーバー・ファームウェア・フィックスを含むファームウェア・レベルである必要があります。 •パーティションのリモート再起動操作が、宛先管理対象システムでパーティションのストレージ・アダプターを構成せずに正常に完了する問題を修正しました。この問題は、元の管理下システムが、No Connection 状態の eBMC ベースの管理下システムである場合に発生します。 •開いているソケットが多すぎるために HWMC が SRC E35A000D を通報する問題を修正しました。 •HWMC の IP アドレスが変更されたときに、HWMC が同じ eBMC への重複接続を確立する問題を修正しました。 •HWMC が 1 つの Power enterprise pool を管理している場合に、GUI dashboard に表示される Power enterprise pool の数が 1 ではなく 0 になる問題を修正しました。Power enterprise pool 2.0 はこの数に含まれていないことに注意してください。” •Power Enterprise Pool 2.0 内のサーバー上の区画の仮想シリアル番号が HWMC GUI に表示されない問題を修正しました。 •GUI で SFTP を使用する機能が、SFTP 転送中に黙って失敗する可能性がある問題を修正しました。 •SFTP を使用した VIOS アップグレードが、アップグレード ファイルの SFTP サーバーに対する読み取り権限が制限されているために、エラー・メッセージ「HSCLC458 The backup file cannot be uploaded from the HMC to the Virtual I/O Server. If this error persists, contact your service representative.」で失敗する問題を修正しました •eBMC ベースの管理下システムの GUI システムテーブルに deferred firmware level 情報が表示されない問題を修正しました。 •NVMe ディスクに使用可能なフリー・スペースが十分にあるにもかかわらず、「HSCLC476 There are no

	<p>free Virtual I/O Server disks」というエラーで VIOS アップグレードが失敗する問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必須アダプターとして既に割り当てられている physical I/O アダプターを別の実行中の区画に追加すると、DLPAR が失敗し、アダプターを所有する区画がブート不能状態のままとなっており、その区画が再活性化されるまで、その区画のプロファイル同期が行われない問題を修正しました。 ・VMI が接続され、管理対象システムが Operating 状態の場合、lssysconn コマンドが「No Connection」という誤った VMI 状態と、「Already connected 0402-0001-00000025」の VMI 接続エラーコードを表示する問題を修正しました。 ・partition migration GUI の「MSP Mapping」ページを修正し、可能なすべての MSP Mapping をリストし、重複する MSP Mapping の表示を停止しました。 ・HWMC 更新が失敗した後は、HWMC の /dump ディレクトリーおよび /data ディレクトリーから HWMC 更新ファイルを除去します。 ・コンソールイベント HSCE2357 「Managed system {0} {1} {2} code level {3}.」の繰り返し記録を削除しました。このコンソール・イベントは、管理対象システムが HMC に接続するとき、または管理対象システムの再作成タスクが実行されたときにのみログに記録されるようになります。 ・HWMC 設定パネルに表示される HWMC 日時の警告が改善され、変更できない HWMC 日時をユーザーが変更できないように制限しました。これらの変更は、7063-CR1 および 7063-CR2 の HWMC に対してのみ行われました。 ・QuickStart system テンプレートの VIOS の minimum メモリー・サイズ、allocated メモリー・サイズ、および maximum メモリー・サイズを、それぞれ 1 GB、2 GB、および 4 GB から 4 GB、8 GB、および 16 GB に更新しました。また、「Add/Create VIOS」ウィザードの VIOS のデフォルトの minimum メモリー・サイズ、allocated メモリー・サイズ、および maximum メモリー・サイズを、それぞれ 4 GB、5 GB、および 8 GB から 4 GB、8 GB、および 16 GB に更新しました。 ・HWMC アップグレード・データの保管などの一部の GUI タスクが、パスワード・フィールドなどの入力フィールドの 1 つに「&」文字が指定されている場合に、暗黙的に失敗するのではなく、エラーを返すように修正しました。 ・「Shut down HMC」タスクを含むカスタム・タスク・ロールを持つユーザーが、新しい GUI dashboard の「HMC actions」メニューでそのタスクを表示できない可能性がある問題を修正しました。 ・HMC を再始動するたびに、「Allow Migration with Inactive Source Storage VIOS system」設定が、eBMC ベースの管理対象システムに対して常に使用可能になる問題を修正しました。 ・プロファイルを編集した後、または新しいプロファイル GUI を使用してプロファイルをコピーした後、プロファイル内の vNIC アダプターのポート VLAN ID や許可された VLAN ID および MAC アドレスなど、一部の vNIC 設定が常に失われる問題を修正しました。 ・新しいプロファイル GUI での巨大なページメモリ値の検証を修正しました。 ・eBMC ベースの管理対象システムの HWMC に表示されるシステム時刻が HWMC のローカル時刻で表示される問題を修正しました。 ・PCIe Gen3 I/O 拡張ドローワーの system plan に表示されるイメージを修正しました。 ・画面が明滅し、「Systems」、「Partitions」、および「Virtual I/O Servers」表の「Tag」列が、表が最初に表示される時にタグの名前とタグの数が切り替わることがある問題を修正しました。 ・-x netcfg オプションは、bkconsdata コマンドでは非推奨になりました。ネットワーク インターフェイスのハードウェア関連の構成は、常にバックアップから除外されました。 ・Apache httpd の脆弱性を修正しました: CVE-2024-27316 ・less library の脆弱性を修正しました: CVE-2022-48624 ・Apache Tomcat の脆弱性を修正しました: CVE-2024-34750 ・shim の脆弱性を修正しました: CVE-2023-40546、CVE-2023-40547、CVE-2023-40548、CVE-2023-40549、CVE-2023-40550、および CVE-2023-40551 ・expat の脆弱性を修正しました: CVE-2023-52425 ・rpm の脆弱性を修正しました: CVE-2021-35937、CVE-2021-35938、および CVE-2021-35939 ・libxml2 の脆弱性を修正しました: CVE-2023-39615 ・nss の脆弱性を修正しました: CVE-2023-5388、および CVE-2023-6135 ・openssl の脆弱性を修正しました: CVE-2023-3446、CVE-2023-3817、および CVE-2023-5678 ・bind の脆弱性を修正しました: CVE-2022-3094 ・shadow-utils の脆弱性を修正しました: CVE-2023-4641 ・tpm2-tss の脆弱性を修正しました: CVE-2023-22745
V10R3M1051	<ul style="list-style-type: none"> ・Power10 サーバ・ファームウェア FW1050 をサポートします。 ・Power10 サーバの 1GB、2 GB、および 4 GB メモリ領域サイズをサポートします。 ・新しい PCIe Gen4 IO 拡張ドローワーおよび IO アダプターをサポートします。 ・VIOS 仮想ファイバー・チャンネル・アダプターを作成する GUI タスクが、「REST000B The URL presented to the Management Console REST Web Services is not valid」エラーで失敗する問題を修正しました。 ・GUI 画面の「Systems」および「Partitions」テーブルの「Usage」ページで、「Storage I/O usage」列に表示される値を修正しました。 ・サーバ・ファームウェアの更新後に、shared processor pool 名が変更される可能性がある問題を修正しました。 ・Live Partition Mobility をサポートしていないが、time reference をサポートしている管理対象システムで、time reference 区画が設定されない問題を修正しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・未使用のHMC ポート 5023 を使用不可にしました。 ・Update Access Key (UAK) の有効期限が切れていなくても、HWMC が UAK チェックを実行するたびに、UAK が eBMC ベースの管理対象システムに再送信される問題を修正しました。 ・HWMC 起動時に SRC E3550046 が通報されるまれなタイミングの問題を修正しました。 ・HWMC が異なるサブネット上にある場合に、ポート 9920 での HWMC 間通信が妨げられる問題を修正しました。 ・ブロックする処理が完了するまで区画のダンプリスタート処理が待たされてしまう時間を短縮しました。これにより、ダンプリスタート処理は、ブロックする処理が完了するまで 1 分以上待たされてしまう場合にはビジーエラーを返します。 ・正しくないシーケンス番号の Power Enterprise Pool 1.0 Mobile CoD プール プロセッサまたはメモリ CoD コードが無視され、ユーザーにエラーが報告されない問題を修正しました。 ・メモリのない Power Enterprise Pool 1.0 でプールを作成、更新、またはリカバリ操作を実行する度に、エラー “HSCL9119 The Mobile CoD memory activation code for the Power enterprise pool was not entered because a permanent to Mobile CoD memory conversion code for a server could not be entered”が返される問題を修正しました。また、プロセッサのない Power Power Enterprise Pool 1.0 でプールを作成、更新、またはリカバリ操作を実行する度に、エラー “HSCL9118 The Mobile CoD processor activation code for the Power enterprise pool was not entered because a permanent to Mobile CoD processor9 conversion code for a server could not be entered”が返される問題を修正しました。 ・GUI 通知ウィンドウに空白の参照 ID とソース、および「Invalid Date, Invalid Date」の日付が表示されるというまれな問題を修正しました。 ・eBMC ベースの管理対象システムの共用プロセッサ・プールの名前が、プールの最大処理単位または予約済み処理単位が変更された後にデフォルト名にリセットされる問題を修正しました。 ・管理対象システムがリカバリー状態になり、rstprofdata や mkprofdata を使用しても管理対象システムが回復しないというまれな問題を修正しました。 ・区画の参照コード履歴が GUI に表示されるときに、SRC E3550037 が通報される一時的な問題を修正しました。 ・CCD からリストアした HWMC にて、HWMCsnap の採取に時間がかかる問題を修正しました。 ・eBMC ベースの管理対象システムがネットワーク上で到達不能になりシステムが No Connection 状態に遷移した時、SRC B303000E が報告されない問題を修正しました。 ・システムプロファイルによる管理対象システムの電源オンで、Incomplete 状態に遷移する問題を修正しました。 ・遠隔保守システム(ASSIST)の通報対象を見直しました。
V10R2M1030	HWMC-CR2 向けに HWMC コード V10 を新規リリース サポートする対象管理サーバは、Power10 のみ。

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 2025 年 1 月

(c) Hitachi, Ltd. 2024, 2025 All rights reserved.